

暮らしナビ ライフスタイル

親子面会交流 法案に懸念

超党派の国会議員でつくる親子断絶防止議員連盟(会長・保岡興治衆議院議員)が、父母が離婚時に子との面会交流や養育費について取り決めることを努力義務とする「親子断絶防止法案」をまとめ、臨時国会への提出を目指している。しかし子供を連れての別居防止や共同親権制度の検討にも踏み込んだ内容に、DV(ドメスティックバイオレンス)被害者支援団体などから懸念の声が上がる。

●議連提出目指す

「娘を思わない日は一日もない。親が子に会いたい、責任を果たしたいという願いがなぜ、かなわないのか」。東京都内の大手企業に勤める40代男性は、元妻のもとで育つ娘との面会交流が1年以上、実現していない。「娘との面会交流が滞るのは元妻の妨害行為によるもの」として、元妻に対し400万円の損害賠償請求訴訟を起こしている。

2009年10月から、元妻が男性の不貞行為などを主張し離婚調停を申し立てたが、親権で折り合いがつかず訴訟に発展。元妻はこの間に突然、

「娘を思わない日は一日もない。親が子に会いたい、責任を果たしたいという願いがなぜ、かなわないのか」。東京都内の大手企業に勤める40代男性は、元妻のもとで育つ娘との面会交流が1年以上、実現していない。「娘との面会交流が滞るのは元妻の妨害行為によるもの」として、元妻に対し400万円の損害賠償請求訴訟を起こしている。



親子断絶防止議員連盟総会であいさつする保岡興治会長。この日の総会には当事者団体などが出席し、法案への意見表明を行った。東京都千代田区の参院議員会館で、中川聡子撮影

当時小学生だった娘を連れて別居に踏み切った。最高裁まで争ったが「母親が監護して

いる現状を尊重すべきだ」となるとして親権者は母親とする判決が出た。男性は離婚後、娘の養育費など毎月計約20万円を元妻に支払っている。

男性は離婚訴訟と並行して面会交流審判を申し立て、1回の日帰り面会、春、夏、冬の長期休暇期間には宿泊を伴う面会などが決められた。しかし面会の日程を決めるために代理人を通じて連絡を取

っても元妻側が「娘は塾通いがある」などと面会時間を制限したり、直前に断られたり、決定通りに実施されてこなかった。男性の代理人である高橋未紗弁護士は「日本の

親子断絶防止法案

日本は民法で、離婚後は一方の親が親権となる単独親権制度を定めている。親権を持たない親と子の定期的な交流が保障されていないとして、当事者団体が法整備を求めていた。2014年3月に超党派の議連が発足し、今年8月に法案を発表。「離婚後も父母が子と継続的関係を維持することが原則として子供の利益に資する」という基本理念のもと▽父母は離婚時に、面会交流と子の監護に関する費用分担を取り決めることを努力義務とする▽子の監護親は面会交流が定期的に行われるよう努めなければならない▽面会交流の実施で子の利益に反する恐れがある場合は、特別の配慮がなされなければならない——などと定めている。

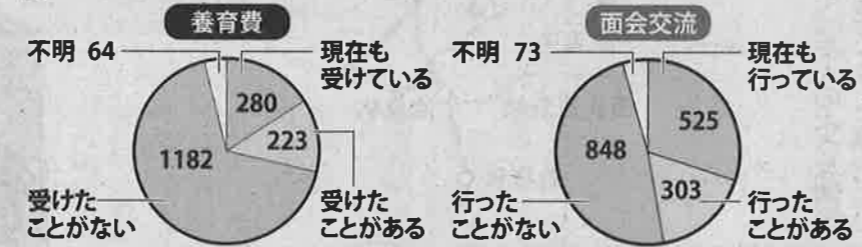
●DV被害者ら反対

一方で、DV被害者支援団体などから法案に反対する声も上がっている。法案の条文には「児童虐待、DVなどの事情がある場合は、特別の配慮がなされなければならない」とあるが、専門家やDV被害者たちは「DVや虐待は証明できない場合も数多くある。特別の配慮といってもあてにできない」と危惧する。DV避難母子を支援する民間シェルターの代表者は「暴言によるDVや性虐待は証拠がない場合が多い。面会交流は一生加害者から支配とコントロールを受けるようなものだ。面会交流を受け入れない」と懸念。実際、加害者の父親と会った子どもの精神状態が悪化した、連れ去られそうになったりしたケースがあったという。

●整備不十分のまま

離婚事件や親子関係の問題に詳しい金澄道子弁護士は「養育費の支払いも面会交流も、当事者間の話し合いでは適切な取り決めが難しいのが現状。子供の貧困解消のためにも、離婚時に子の養育について取り決める仕組みと合意内容の実現に向けた支援体制は必要」とした上で、「離婚理由や子供の意向などの事情が異なるのに、親子の継続的関係が原則的に子の利益とする法案の前提は疑問だ」と指摘。父母が紛争状態にある中で面会交流をスムーズに実施するには、日程調整や受け渡し、安全に面会できる環境整備について第三者が介入する仕組みが欠かせない。「そうしたソフト面の整備が不十分なまま、子の監護親のみ面会交流の努力義務を課すことが子の利益にかなうといえるのか」と問題提起する。

養育費・面会交流の現状(数字は世帯数)



※母子家庭・父子家庭の計。2011年度全国母子世帯等調査結果報告(厚生労働省)より作成

また、特別な配慮が必要かどうかの判断を行政に任せることは期待できないとも指摘する。「加害者男性は他人の前だと反省を口にし外面を取り繕う。行政の担当者が被害女性に『家庭に戻ったら』と勧めることもあり、実態を見極めることは難しい」と顔をしかめる。

【中川聡子、坂根真理】

DVから逃れた女性は「どんな親でもつながりを持ち続けるべきだ」という法案は、子供への悪影響を全く考えない大人の都合にすぎない」と訴える。夫から「このクズ」と呼ばれる。お母さん逃げよう」と子供に言われ、9年前に母子でシェルターに避難した。その後離婚が成立したが、月1回の面会交流を義務づけられた。元夫からは「会わせないうら養育費を払わない」と言われている。連れ去りなどを警戒し、半年以上、弁護士立ち会いで行った。「子供は元夫にいつもおびえ、ビクビクしているし、泣きながら帰ってきたこともある。家族にとって何が幸せかはケース・バイ・ケース。何かあったら誰が責任をとってくれるのでしょうか」と問いかける。

息子の道

ボクシングの長谷川穂積選手が9月16日、世界ボクシング評議会(WBC)スーパーバンタム級のタイトルマッチを制し、5年ぶりにチャンピオンになりました。新聞記事を読んで胸がいっぱいになりました。負けが続き、引退も噂された中で人の支えがあったとはいえず、やはり彼をここまで続けさせてきた原動力は、ボクシングというスポーツの魅力なのでしょう。私の息子もボクシングに魅了

女の気持ち

2016.10.1

された一人です。アルバイトで生計を立てながら、今、プロボクサーの道を歩んでいます。中学生の時からジムに通い、高校は九州の強豪校で3年間の寮生活を送り、卒業後はまさかのプロ試験合格。あれよあれよという間に自分の道を進み、親元を離れていきました。格闘技に全く縁のない私は、けがの心配はもちろん、将来の不安も息子にぶつけました。なんでボクシングなのか、どうしても理解できなかったのです。でも今はわかります。この道を閉ざしていたら、人を思いや

食卓の一品 カルボナーラ

1人前 603 ㎉、塩分 1.5 ㊦

生クリーム代わりに、牛乳で作るカルボナーラです。卵黄は、パスタをソースにからめてから混ぜ込むと、余熱でとろりと火が通って、ほろほろになります。

＜主な材料＞(2人分) スパゲティ160㊦▽ベーコン50㊦▽牛乳カップ1/2▽卵黄2個分▽パルメザンチーズ25㊦▽バター大さじ1▽塩、コショウ各適宜

料理研究家 川津幸子